

《 Miasa Community Design 》

# みあさづくり



## 530 (ゴミゼロ)運動

「美麻にはゴミはないんじゃない。」という生徒の予想。ゴミゼロ運動当日、その思いをくつがえすように集まるゴミたち。燃えるゴミ、燃えないゴミあわせて3つの袋にゴミが集められていました。中には建築材料の桶を捨ってくる生徒もいました。

いつもきれいであると思っていた生徒たちもこの状況にびっくりしていました。きれいな故郷を大切にしようという心が芽生えた瞬間でした。

みんなできれいにしようと頑張った生徒の姿を大切にしたいと思います。



※ごみゼロの日とは、日本で美化活動とともに、ごみの減量化と再資源化を促す啓発活動を実施するための記念日。1982年（昭和57年）、関東地方知事会が提唱した関東地方環境美化運動の日に由来する。毎年5月30日。環境美化運動の一環として各地に広まり、平成5年に厚生省（当時）が制定したごみ減量化推進週間の初日とされた。



facebook



ホームページ美麻Wiki

《 地域の話題 》

# メンドシーノ姉妹都市交流事業2019



## 第15回 メンドシーノ訪問団 をお迎えして

令和元年6月27日から7月2日の日程で、メンドシーノから30名の訪問団を美麻にお迎えし、学校交流・市内巡り・ホームステイ交流等で美麻・大町の滞在を経験していただきました。何よりも日米双方の子どもたちが楽しく交流し合い、友情を培っていただけたことが本事業での最大の目的達成になり得たと思っております。

ちょうど梅雨のシーズンであり、天候が心配されましたが、思いのほか雨量も少なく、予定された交流がほぼ順調に実施されたことを嬉しく思っております。

交流の内容についてはケーブルテレビでも放映されたのでご覧になられた方々はよくご理解いただけたかと思えます。7月2日の朝、ほかほかランドからバスで美麻を離れられましたが、子ども同士・子どもと大人・大人と大人の互いに別れを惜しむ姿が、この交流の意義を如実に物語っているように思えました。

準備に当たられた事務局・ボランティア・学校職員・ホストファミリーの皆さんに深く感謝するとともに、ご支援くださった大町市当局に心よりお礼を申し上げます。

メンドシーノ姉妹都市交流実行委員長 竹内 彰

## メンドシーノ交流ボランティアネットワークの活動から

今回の交流でも、これまでのように交流の企画やホスト募集、食事の企画などサポートしてまいりました。美麻入りまでの東京（都内・鎌倉・日光）や広島、京都・奈良、金沢でも現地参加のボランティアに応援いただき交流の随行を行いました。

今回は、旅行途中での病気での急な帰国や美麻滞在中の発熱での通院などのトラブルもありましたが、多くの皆さんの支えで無事に交流日程を終え訪問団が帰国できました。食事作りを引き受けていただいたみなさん、その出来栄は素晴らしかったと訪問団の評価を聞いております。また、ホストを受けていただいた皆さん、家庭での交流はいかがでしたでしょうか？今回の交流での反省の声も集約させていただき、次

回に反映させていきたいと思っております。本当にありがとうございました。



《 地域の話題 》

## 和になっていただきました全校の思い

～メンドシーノとの交流会（6/28）～

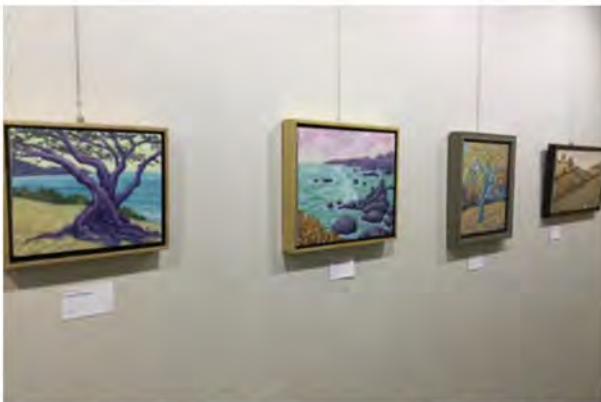
美麻とメンドシーノをつなぐメンドシーノ交流会が6月28日に行われました。

歓迎セレモニーでは、私たちは、美麻の紹介や、昨年メンドシーノに行った時の感想、「信濃の国」ダンスなどの発表を行いました。また全校合唱、じゃんけん列車などはメンドシーノの方々と共に触れ合いながら、楽しむ姿がたくさん見られました。

担当した7年生の生徒は「メンドシーノの人

たちにどうやって喜んでもらうかを考えて、それに向かって準備できた」「一人ひとりの力でいいものを創るということがわかって、それだけ一人ひとりの大切さがわかった」などいろいろと学ぶことが多かった交流でした。

参加したみんなに笑顔のあふれた楽しい1日でした。ご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございました。



## 芸術と工芸をめぐる ふたつの町の国際交流展 2019開催

2008年から始まったメンドシーノとの芸術交流事業も今回で12回目となり、大町では6回目の展示会が6月29日から7月15日まで、大町市のギャラリーいーずらで開催されました。

展示会では、気に入った作家の作品を購入することができたり、7月7日には、創捨わちがいにおいて、初の試みとなるオークションが開催されるなど、芸術を通じた市民交流が、着実に広がりを見せている感じが感じられました。

《地域の話題》

## 二重地区では、ほ場整備事業が進んでいます

二重地区のほ場は、昭和56年の工事から約30年経過し、水路の水漏れや田の面積が小さいなど、近年色々な問題が出てきました。

長野県や大町市の指導により、今回の事業が導入でき、現在湯の海地区より用排水路の更新や畔抜きによる面積拡大のための工事を行っており、令和4年頃終了、また現在10a～20aほどの田が30a～50aになる予定です。自動給水装置も設置されます。

この工事により、二重地区の田を将来にわたり、守っていくことが出来ればと思っています。

工事へのご理解と、ご協力をお願いします。

二重地区ほ場整備実行委員会



## 茅の輪くぐり ～新行戴神社～

毎年6月末に「夏越の祓」で行われ、茅で作った輪を8の字で回ります。今年は6月16日（日）に行われました、茅の輪をくぐることで「年越の大祓」の後にたまった半年間の穢れを祓うと同時に病気や災いから免れるとの言い伝えがあります。



## 市道等の草刈りを実施

今年も、美麻地域づくり会議、建設業組合、支所職員で6月15日（土）に美麻地区の市道の草刈りを行いました。普段管理のできない区内の道路周辺の草刈りを大勢の皆さんから協力を頂き実施できありがとうございました。



## おひさまゆうせつ プロジェクト2019

二重自治会では、今年も、大町市の「人が輝くまちづくり事業」の助成をいただき市道蟻坂線の支障木伐採作業を実施しています。

第1回目の作業を6月15日におこないました。交通規制に協力いただきありがとうございました。次回の作業は8月の予定です。



《みあさ保育園の話題》

## 公民館と保育園の合同親子遠足

毎年恒例の公民館と保育園の合同親子遠足が6月14日にありました。

今年は長野市茶臼山動物園・恐竜公園に行ってきました。

「初めての動物園。そうさん、さる、うさぎが見れて楽しい思い出になりました。モノレールに乗って恐竜公園でお弁当を食べ、たくさん遊びました。」(種山愛未)  
 「良いお天気に恵まれ、最高の親子遠足日和でした。沢山の動物たちを見たり触ったり、親子で沢山楽しめました。恐竜公園の長い滑り台もみんな楽しそうでした。」(酒井由起子)

「『ウサギを抱っこしたい!』といく前から我が子は熱望していたので、まず最初に観に行きました。ウサギやモルモットなどの触れ合いに喜んで行くのかと思いきや、我が子は完全にフリーズ。「怖い。。」えー、あんなに楽しみにしてたのに!?お友達が可愛い可愛いと触りに行く姿をみて、かなり勇気を振り絞りましたが最後まで触れませんでした(笑)お友達と一緒にお昼ご飯を食べたり、恐竜公園で嬉し



そうに遊んでいる姿をみることができ、親としては成長を感じたり、微笑ましかったりと、とても有意義な時間でした。」(松下愛)

「コアラ、パンダクラブ合同親子遠足、茶臼山動物園!子供もすごく楽しそうに走り回ってました。これで保育園最後、とってもいい思い出になりました。」(青山綾子)

## はやくおおきくな〜れ



美麻地域づくり会議の「会員活動支援事業」として保育園のベランダにミニトマトの苗7本を植えました。園児も一緒にプランターへ土を入れたり、肥料を混ぜたりして作業をしました。はやく美味しいミニトマトが採れるのを心待ちにしています、送迎にくるお母さんたちも楽しみにしているようで子供たちにも野菜づくりの楽しみが伝わればいいなと思っています。なお、ミニトマトの苗は二重の佐藤修一さんにご提供頂きました。ありがとうございました。

## 親子で草木染め体験!

7/6 園庭の草取り作業をした後に木崎工房の方を講師に招き親子で手ぬぐいを染めました。

「梅雨空を心配しての草取り作業でしたが、雨が降ることもなく照りつける太陽もなく園庭にあったいっぱい草を子供達と取る事ができました。

今年の親子レクは草木染め!みんなそれぞれ手ぬぐいにスーパーボールや輪ゴムを使って絞りを入れて2種類の染液に投入!色んな模様が付いてどれも一緒のものが無い!世界に一つだけの自分の手ぬぐいが作れました!秋にはこれを頭に巻いて餅つきだあ!」(村松 佳代)

「初めての草木染めに子供より真剣になってまし

た。手ぬぐいに絞りを入れたが一体どんな模様になるのか全く想像がつかず、最後に広げる瞬間のドキドキ感がたまりませんでした。」(塚田みのり)



《コミュニティ・スクールのお話》

# ハプニングにより、 美麻の花豆 アピール成功！

花の彩りが鮮やかな4月のゴールデンウィーク。松本市の信州スカイパークで行われた信州花フェスタ2019に「花MAME株式会社」が美麻をアピールすべく、花豆商品を販売してきました。今回は、花豆パン「みあさのミ」や花豆ティラミスに加えて、新商品『花豆アイス』の販売を行いました。お揃いのピンク色に紫字で「美麻」と大きく書かれた法被をまとった7年生の現社員と、助っ人で登場した高校1年生の旧社員に、高野毅前校長先生や矢口雅紀先生も来場。温かい雰囲気の中での販売となりました。

大町市観光大使の鉄拳さんと村井美樹さんのステージ終盤には、高校1年生の冬真さんのアピー



ルにより、学校ゆるキャラ「麻野大丸」がゲリラ登壇することに成功。その後のアピールにより、美麻ブースが活況となりました。新生花MAME株式会社は順調すぎるスタートを切ることができました。（文責 青沼健二）

## 学校でどれくらい育つ???

今年は学校で80本近くの花豆の苗を植えました。7年生が中心となって、他学年に広めています。1本1本、児童生徒の名前や苗の名前を割り箸に書くことにより、愛情をもって育てようと思っています。種から芽が出て、今ではオレンジの可愛い花が徐々に咲き始めました。校舎の周りに植えてある花豆がどのくらい実をつけるか、今から秋の収穫が待ち遠しいです。（文責 青沼健二）



美麻産の高級高地栽培豆のみ使用しています。

### 美麻の花豆商品化プロジェクト

## 「花豆あいす」完成

学校支援隊では、2019年度も北陸地域づくり協会の助成を受けて花豆の6次産業化を地域づくり会議や7年生の総合学習と連携しながら進めております。

今年は、花豆あいすを商品化して信州花フェスタの会場で市場調査を兼ねた試験販売を行いました。今後は美麻や大町の商店や飲食店で販売するほか、地域イベントでの販売も予定しております。

サイズは100ml、販売価格は330円（税込み）で数量限定生産です。徐々に販売店を増やしてゆきますので、販売店が決まりましたら順次お知らせいたします。お楽しみに。

《コミュニティ・スクールのお話》



5年生の美麻市民科  
田植え  
完了！

苗が少しばらばらになって大変でした。泥がないところもあって苗がたおれそうになり大変でした。やっていくうちに、泥にもなれてきて、泥が冷たくて楽しかったです。武田先生は、植えるのが速くて、ていねいでありがたかったです。暑かったけれど、がんばって植えられました。(青木 萌彩さん)

5年生の総合の目玉活動は「米作り」です。保育園下の種山さんの田んぼをお借りして、学校支援隊の皆さんに昔ながらの作業を教わりながら、畦切、代掻き、田植え、電気柵と水の管理の仕方を体験してきました。保護者の支援隊の皆さんからは、毎回「おこひる」を用意していただき、田んぼ仕事の後はお楽しみタイムです。秋の収穫に向けて、これからも田んぼの活動を行っていきます。

美術の日

美麻小中学校では、毎年ステップ期とジャン

プ期の児童生徒が、美術の日として4時間じっくりと絵を描きます。自分が表現したい場所と向き合い、自分や友達と対話しながら「協働の学び」をする有意義な半日です。梨の木祭の学級展示で子どもたちの作品をご覧ください。

「今日の1~4時間目は、美術の日でした。私は昇降口前の大きな石を描きました。かなちゃんも、日時計を描いていました。難しかったのは、石の奥にある木の葉っぱです。一番上手に描けたのは、木です。模様や傷などの細かいところまで描けました。私が感じた友達のおすすめ作品は、ないとかんの校舎の絵です。玄関や時計などが細かく描いてあったからです。まだ、9年生までと描くチャンスが4回あります。描きたい場所もいっぱいあるから、なるべくたくさん

のところを描いてうまくなりたいです。」(5年生 田中晏子さん)



《コミュニティ・スクールの話題》

## 「身近なもので体力アップ」～シートでストレッチ～

毎年恒例の東海大の内田先生による元気アップ講演会が6月21日にありました。今年は身近なものを使って体づくりをお願いしたところ、シートと洗濯ばさみと団扇を使っての全身運動となりました。



まずは、シートを使ってストレッチ。体全部を使って出来るだけ高く投げ上げます。みんなの気持ちが合わないとシートは上に上がってくれません。体がほぐれたら鬼ごっこが始まりました。

洗濯ばさみにスズランテープを縛りつけ、ピンスに洗濯ばさみを一人4個ずつ付けて自分のチーム以外の人からテープの先を引っ張って取ります。洗濯ばさみの数が多いチームが勝ち！です。



鬼ごっこでいっぱい走った後は、団扇を持って上半身を鍛えます。チーム対抗戦です。自分の陣地から風船を相手陣地に全てを入れます。団扇で煽いだりたたいたり制限時間内に自分の陣地の風船を0にしたチームの勝ち！。煽っているときは必死なので腕の痛みもわからないくらいですが、動きを止めた瞬間汗が滝のように吹き出てきました。この日は体だけでなく頭も使いながら作戦を立て、相手の動きを読んで動くという反射神経も使うとても内容の濃い学習ができました。

### 児童・生徒の感想から

自分は体育は苦手なほうですが楽しく体を動かすことができてとても嬉しかったです。元気アップ講演会は今年で最後ですが、一般の人が参加できるものに来年もその次も参加できればいいなと思います。

今日は来ていただき、ありがとうございました。相手の陣地に行って洗濯ばさみをとるやつが楽しかったです。相手が頭を使うかこっちが頭を使うかなのですごくおもしろかったです。

東海大学の内田先生には継続してきていただき、毎回子供たちにいろんな動きを教えてください、それを素直に受け止め挑戦していく美麻の子供たちの成長に驚きと感動の言葉をいただいています。この恵まれた環境で地域の方たちから理解され、応援していただいている元気アップをこれからもよろしくお願いします。

美麻小中学校元気アップ担当 武田 彰代

## これ『うど』かなあ山菜採り

5月17日金曜日に、ホップ期で山菜採りをしました。始め、種山さんから山菜の種類を紹介していただきました。自分たちの身の回りですぐ見つかるもの（たんぼぼ・よもぎなど）から、山の中にある珍しいもの（おおかみこうもり・ねまがりだけなど）まで、30種類ぐらいを採ってきて、見せてくれました。

学校から少し外へ出るだけで、たくさんの山菜に出会いました。まず見つけたのが「わらび」です。ちょうど食べごろのわらびが保育園との間の坂に、採り放題のように生えていました。そして「あざみ」「こしあぶら」「こごみ」などを見つけては、我先にビニール袋へ入れていきました。途中、子どもたちが大きな「うど」を見つけ、そ



れを見た前川さんが「立派な『うど』だね。俺は見逃していたけど、よく見つけたね。すごいよ」と言いました。子どもたちは誇らしい顔で宝物のように大事に採りました。

美麻からの自然の贈り物。来年も、たくさん採れるといいです。（2年 野本和幸）



《コミュニティ・スクール の 話題》

# 心洗われるひと時♪ ～声楽アンサンブル Jスコラーズの皆さんによる音楽鑑賞会～

今年度の音楽鑑賞会は、合唱団の皆さんによる素敵な合唱のコンサートでした。

ステージに登場したと同時に、キラキラとこぼれ落ちるようなピアノの音色とともに、心に直接届いてくるような、美しいハーモニーが体育館いっぱいに響きわたりました。明るい歌、勇気をもらう歌、思わず笑ってしまう歌など、次々と繰り出される合唱の魅力に、会場の全員が引き込まれました。途中、みんなまで歌うコーナーでは、今月練習してきた「翼をください」を、演奏者の皆さんと一緒に歌うことができました。プロの方の合唱指導も交えながら、気持ちよく声を合わせることができ、感動のひと時でした。



## ♪子供たちの感想から

「自分の知っている曲などもあって、とっても楽しかったです。全部の中で一番好きだと思った曲は、6曲も一気に流れた童謡のメドレーです。ソプラノ、アルト、テノール、バスのいろいろな声がかっこ良かったです。また聴きたいと思いました。」

「みんなきれいな声で歌っていて、うっ

とりしました。私がすごいなと思ったのは、「栄光の架け橋」でした。女声と男声がきれいに混ざり合って、聴き心地がよかったです。もう一つすごかったのが、「パパゲーノとパパゲーナ」でした。「パパパパ…」とすごく速く言っていて、おおーと思いました。アラジンも、たった二人なのに違うきれいなひびきがあっけすごかったです。」

## もしも、知らない人に声をかけられたら・・・



6月11日火曜日に防犯訓練がありました。昨年度は、学校への不審者侵入を想定して行いましたが、今年度は、連れ去りを想定して、4～9年生の各クラスの代表が前に出て、ロールプレイをして、不審者役の警察の方の誘いを断ったり、カバンをつかまれたりしたときの対応の仕方を学びました。お菓子を見せられたり、困っているから助けて欲しいと懇願されたりすると、戸惑う姿が

ありました。防犯についてじっくり考え、意識する良い機会となりました。

## 生徒の感想

- ・ 今日、「もし、不審者にあつたらどうすればよいか」みたいなのをやりました。まずは、距離をとる。ついていかない。など改めて教えられました。けれど、やはり一番はそのような場所や時間に外に出たりしないことです。
- ・ 今日、防犯訓練がありました。4～9年生の代表の人が皆の前で見本を見せてくれました。その後ホップ期とステップ・ジャンプ期に分かれて警察の方からお話をお聞きし、護身術を教わりました。腕の振り払い方や逃げ方など、たくさん知ることができました。いざというときには、それをやりたいけれど、そのようなことがないように、危険な場所や時間に気を付けたいです。

## 《コミュニティ・スクールのお話》



6月15日、松本市の広域公園体育館で中信大会が行われました。今年は本校9年生の小林咲希さんが選手宣誓をしてくれました。大会は、1時間程度進行が遅くなるアクシデントもありましたが、緊張を途切れさせず、一つ一つの試合に全力で臨んでいたと思います。

9年生の巻田陽也君は、この日の最終試合を戦い、会場全体の注目を浴びながら最終セットまで全力で戦いました。その姿を見ていた校長先生から「涙が出そうになった」とお言葉を頂きました。13人全員が、持っている力をすべ

て出し切りましたが、結果は個人・団体とも県大会に進むことができませんでした。しかし、県大会に進むよりも大切な何かを掴むことができた1日だったと思います。

当日は先生方や保護者の方々など、たくさんの方が応援に来てくださいました。子どもたちにとって、皆様から聞こえてくる一声一声は、最後の一球まで全力で追う原動力になっていました。応援ありがとうございました。

(文責 バドミントン部顧問 松原大輝)

## あと1つのアウト

雨が上がった6月9日(日)には大町市営球場にて郡球こと北安曇地区中学校体育大会野球の部が行われました。大町第一中、白馬中との合同チームで臨み、初回から先制を守り切り、5-1で3期連続優勝を果たすことができました。

6月22日(土)池田農村グラウンドで行われた中信地区大会。県大会出場を目標に取り組んできた本チームは、1回戦の松本市立波田中学校を5-0の危なげない試合運びで勝利し、県大会出場決定戦を松本市立清水中学校と行うことになりました。数年前には全国大会出場したチー

ムに先制をされたものの、中盤追い付き、6回裏には逆転。7回表2アウト1塁までこぎつけましたが、そこからまさかの同点タイムリー。その後8回9回とお互いが譲らず、タイブレークへ。無死満塁からの相手攻撃を1点に抑えたものの、攻撃ではまさかの無得点。本当にあと一步、すぐそこまで来た県大会出場への目標は、後輩たちへと引き継がれることになりました。

(文責 青沼健二)



《コミュニティ・スクールのお話》

# 8年生の浴衣体験

今年度は6月11日（火）の5・6時間目の家庭科で8年生が浴衣を着る体験授業をしました。

丸山昭子先生、若林きみ子先生、竹内久美子先生を講師に迎え、学校支援隊の方々にもご協力いただき、8年生11名全員が浴衣を着ることができました。



## 生徒の感想

着た瞬間に分かる重厚さ、ただ肌に触れたり、通る風は涼しげでいて、これこそ夏の風物詩だと思います。（一本木 風雅さん）

浴衣は何回も着たことがあったけど、リボンを自分で作ったのは初めてだったので難しかったけど、とても勉強になりました。家でも

また自分でリボンを作りたいです。（新津 彩唯花さん）

初めて自分で浴衣を着てみて、帯が複雑で大変だなと思いました。でも、帯をすると背筋が伸びて姿勢がよくなりました。素晴らしいものだと思います。古くから伝わる日本の宝だと思うので今回の体験を忘れないようにしたいです。そして夏祭りで浴衣を着る時に自

分一人で着てみたいです。（倉品 誠夏さん）

着ている人を見て難しそうだなあと思いましたが、実際やってみるとやることは少なかったです。しかし、やることは少ないのに一つ一つが本当に難しかったです。もしこれから着ることがあったら、今回のことを実践したいです。（岡田 悠翔さん）

## 強めよう！ジャンプ期の絆

ジャンプ期（8・9年生）では、小山薫堂さん作詞の「ふるさと」を歌っています。歌詞の情景を美麻に重ね、今ここでともに生きる仲間や家族・地域のみなさんを思いながら歌っています。

7月のジャンプ期集会では、この曲でSBCコンクールに挑戦するかどうかを話し合いました。自治会活動や行事準備などにも全力な生徒たちですので、休み時間もなかなかゆったり過ごせない毎日です。「挑戦したいけれどやりきれるかな…」と、不安な気持ちも抱えています。でも、みんなで出した答えは、「やってみよう！」というものでした。同じ目標をもって練習する中で「ジャンプ期の団結力を高めたい」と願い、出した結論です。声をかけあって時間を作りだし、歌声も集団力も高め合おうとする背中を、応援しています。（文責 竹村沙織）



## 《インフォメーション》

## 「つなぐ」市民科

9年生の市民科は、過去と未来を「つなぐ」、美麻のお店を「つなぐ」ための調査活動です。現在は50年前の美麻を知るために地域の方へのインタビュー活動と、よりよいお店同士のつながりをつくるワークショップの開催準備を行っています。

## 【生徒の声】

『第1回ワークショップをどんなふうにするか考えました。みんな自己紹介のしかたやゲームなど、参加者が和みそうなふうに考えていました。小グループでやったほうが場の雰囲気にはよさそうですね。』

『昔の話（麻、仕事、生活などについて）をお聞きしました。貴重な話をうまく文章にして、本にできるようにしたいです。映像もうまく撮れるようになります。』（文責 9年副担任：森川 寛）



美麻市民科連携企画  
**つなぐれ地域のお店①**  
美麻地区のお店をリレーで紹介します。

いのげん  
**猪乃源[おやき専門店]**

大町市美麻青具（オリンピック道路沿い）  
平成29年8月8日創業

営業時間は 火曜 木曜 土曜日 11:30~17:00

メニューは定番のおやきと旬の素材おやき。年間を通して地区内の珍しい素材を生かしたおやきを模索中。

包みかわはオリジナルで温かなくても冷たくてももちりとした食

感です。蒸かしおやきと焼きおやきがあります。お値段は1個190円より色々あります。

また麺類ご飯類の特別メニューもあります

店内は厨房まで見えるすっきりした造りでカウンター席で5席

（店名のこだわり）

『猪』はオーナーの干支 『源』は祖父の名前の一文字（源次郎さん）ご利用よろしくお願いたします。  
（お問合せ）猪乃源 細野 090-5313-5741



## 美麻い~とこよっとくれフェア開催

今年も美麻市とよっとくれフェアを行います。今年も「おやき恋訪」も同日に開催し、大町・小川・中条のおやきの販売も行います。

○日時 8月10日（土） 9時から12時まで

○場所 道の駅ほかほかランド美麻

○イベント スイカ割り・エコかき氷・ニジマスつかみ取り・ジビエ汁の振る舞い

○フリーマーケットも開催しますのでみなでお越し下さい。

## 大町美麻自転車ロードレース大会

今年もロードレース大会が次により開催されます。当日は、交通規制が行われますので交通整理員の指示に従いご通行下さい。ご迷惑をお掛けしますがよろしくお願いたします。なお、当日運営に携わって頂くボランティアを募集しています。事務局までお申し込み下さい。開催日 令和元年9月1日（日）

○交通規制 午前7時30分~午後4時30分予定

お問い合わせ 市美麻支所産業建設係内 実行委員会事務局 tel29-2311

## やまびこまつりへのお誘い！

毎年恒例の「大町やまびこまつり」に今年も美麻連で参加します。みんなで楽しく踊りましょう！！

日時 8月3日（土）

集合 18時（大町合同庁舎駐車場）

おどり 19時から21時まで

※美麻連の出発場所は柴田製菓舗付近から大町駅方面へ進行します。

問合せ 美麻地域づくり会議事務局

tel29-2311

■ 編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info